

「道徳の時間」学習指導案

呉市立郷原中学校
教諭 吉本かをり

- 1 日時 平成23年6月17日(金) 第1校時
- 2 学年 第2学年 B組37名(男子21名 女子16名)
- 3 主題名 役割と責任 4-(4) 関連項目 4-(7), 2-(5)

4 本時のねらい

責任を果たそうとする優子の思いを考えることを通して、自分の役割を自覚し責任を果たすことの大切さに気づき、責任をもって役割を果たすことで集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。

- 5 資料名 「白紙の答案用紙」 出典 広島県教育委員会「心の元気Ⅱ」(一部改作)

6 主題設定の理由

○ 主題観

中学生は様々な集団や社会の一員として生活を営んでいる。集団にはそれぞれ目標があり、立場の違う人が存在しており、それぞれが役割と責任を自覚して集団の目標を達成する中で、集団生活の向上が図られ、自己の実現もなされる。学校生活でも集団の向上のためには、規則を守り、一人一人がその役割と責任を果たすという自覚が大切である。学校という集団の一員として責任を果たすということは、集団に貢献することであり、自分の存在を認めてもらうことでもある。自分がかげがえのない存在であるということを感じることはお互いに大切な一人であるということでもあり、お互いに存在を認め合う集団を作っていくことにもつながるのである。

○ 生徒観

本校2年生は、決められた役割や責任は守ろうとする生徒も多い。学級の係や当番、委員会活動など自分の決まったことについては守らなければという意識を持っている生徒も多くいる。しかし、自分の責任を果たすことが、自分の存在を認めてもらうことになることや、学校を創り上げていくこと、学校生活をよりよくしていくことにつながっているという意識はあまりないように感じる。また、自分の役割が終わればそれでよいと考えている生徒もあり、他の人と協力して生活の向上を目指すという態度はあまり見受けられない。自分以外の責任が果たされていない人を批判することが、集団生活の向上になると思っている面もある。

○ 資料観

この資料は学級での係活動という身近な題材で、責任の重さについて考えさせられる資料である。資料のクラスの状況に自分たちのクラスを重ね合わせることで、集団における個人が担う責任の重さを自覚させられる資料となっている。数学係としてみんなへの連絡をしなかった優子が、責任の重さを感じ、白紙の答案用紙を提出するしかなかったその思いを考える中で、責任の重さを感じ取らせ、自分たちの役割や責任について、もう一度考え直すことのできる資料である。資料の原文では、次の日の様子は、描かれていないが、クラスみんなの気持ちを考えさせるために、優子がクラスみんなに自分の思いを語る場面を設定した。

○ 指導観

生徒には、役割や責任の重さについて登場人物と自分とを対比させながら考えさせることで、一人一人がその役割や責任を果たすという自覚のもとに行動することが大事であることに気付かせたい。資料のクラスの現状と自分たちの学級、学校の状況を重ね合わせながら、集団生活の中の役割と責任の必要性について考えさせたい。資料のクラスと自分たちを重ね合わせるために、学習ノートと活動の写真を活用したい。

学習ノートを展開や終末で活用することで、自分たちの日常を振り返ったり、学級活動などで挙げられた課題や問題について振り返ったりしながら、学級、学校の一人として自分はどうかだったか、改めて考えさせ、次の活動につなげていく手立てとしたい。特別活動の写真を導入や終末で活用することで、視覚的に自分たちの委員会や係の活動を想起させ、自分たちの生活を振り返りやすくし、自分のこととして考える手立てとしたい。

これらの手立てを取り入れることで、各自が自分の役割や責任を自覚して行動し、お互いにかげがえのない存在であると感じ、協力し合って学校生活を送ることが、学校をよりよくしていくことにつながるということを改めて考えさせたい。

7 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き (◎ 中心発問)	留意点 (○) 評価 (☆)
導 入	1 学校や家で決まっている自分の役割について考える。	○ 今、学校や家で決まった役割がありますか。 ・購買委員でパン注文の当番 ・クラスの教科係	○ 委員会の活動の様子や学級の係の様子を写真を使って想起させ、資料への関心、意欲を高めさせる。【写真】
展 開	2 資料「白紙の答案用紙」を読んで話し合う。 (1) テストが実施されることになった時の優子の気持ちを考える。 (2) 優子が答案用紙を白紙で出した理由を考える。 (3) 優子の行為が責任を果たすことになっているか、理由とともに考える。	○ 数学のテストが実施されることになった時の優子の気持ちを考えてみよう。 ・しまった。 ・どうしよう。 ・みんなに申し訳ない。 ○ なぜ優子は答案用紙を白紙で出したのだろうか。 ・良い点を取ったら更に責められるから。 ・みんなに悪いから。 ・責任を感じて書けなかった。 ・他にどうすればよいか分からなかった。 ◎ 優子の行為は、教科係としての「責任を果たす」ことになったのだろうか。その理由も考えてみよう。 <果たしている> ・優子はもう答案用紙を白紙で出しているから。 ・もう責任はとったから。 ・優子にはどうすることもできないから。 <果たしていない> ・みんなに迷惑がかかったから。 ・係の仕事をしてないことには変わらないから。 ・白紙で出しても責任を果たしたことはないから。 <どちらとも言えない> ・責任をとることで、責任を果たそうとしているから。	○ テストが実施される時の様子を、資料に書かれているクラスの生徒の言葉から想像させ、考えさせる。 ○ 切り返し発問で、「白紙で出してもみんなの点が変わらない」ことを問い、そうせずにいられない優子の気持ちを考えさせる。 ○ 自分の立場をはっきりさせた上で、ワークシートに理由を書かせることで、主題である責任についてしっかり考えさせる。 ○ 切り返し発問で、「責任を果たす」と「責任をとる」ことの違いについて問い、責任を果たすことの重みを考えさせる。
開	(4) 「誰も口を開こうとしなかった」理由を考える。	○ 優子の言葉を聞いて、なぜ「誰も口を開こうとしなかった」のだろうか。 ・そんな事情があったとは知らなかったから。 ・優子ばかり責めて悪かったと思ったから。 ・自分も責任を果たしていなかったことがあることに気付いたから。	○ 責任をとろうとしている優子の言葉を、資料の生徒の立場になって聞かせ、ワークシートを使ってじっくり考えさせる。 ○ 考えつかない生徒には学習ノートを使って自分の役割や係を振り返らせクラスの生徒の立場になることで、なぜ何も言えなかったのかを考えさせる。【学習ノート】

<p style="text-align: center;">終 末</p>	<p>3 今までの自分の生活を振り返る。</p>	<p>○ みんなの中で係や委員会活動に取り組んでいる人を紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに迷惑をかけないようにしよう。 ・そんなにがんばっている人もいるんだ。 ・私も責任感を持って役割を果たすようにしよう。 <p>○ 授業を振り返って考えたことを書いてみよう。</p>	<p>○ 学習ノートの記述や役割を果たしている様子を写真や学習ノートで紹介することで、次の活動への意欲をもたせる。</p> <p style="text-align: center;">【学習ノート・写真】</p> <p>☆ 自分の係や役割について、責任という視点から振り返っている。</p>
--	--------------------------	---	---